

石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ <https://www.senshu-u.ac.jp/isinomaki/>

石巻専修大学
広報係
☎986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717(直)

2018年4月
創立30年
を迎え
ます

高大産連携プロジェクト 経営・杉田ゼミ

「こめぼこ」商品化に協力

楽天戦で販売し、完売

地域の活性化とスポーツ振興を目指す、石巻専修大学はプロ野球の楽天野球団と連携協定を結び、活動に取り組んでいる。その第一弾として、石巻北高校と宮城水産高校を含めた高大産(高校・大学・産業)連携プロジェクト「こめぼこ」を4月にスタート。経営学部の杉田博ゼミが、高校生が開発した米粉入りかまぼこ「こめぼこ」の商品化に協力し、楽天イーグルスの公式戦で販売した。5日間で2100パックを完売し、多くの人から「もっちりとした食感がお

いい」と大好評だった。「こめぼこ」は石巻北高校で収穫した米を米粉にし、宮城水産高校で魚のすり身に練り込むというオリジナルかまぼこ。商品化、販売方法に関し、石巻北高校と宮城水産高校と楽天野球団のオフ・オフィシャルスポンサーの阿部浦鮮店(仙台市)が連携サポートしてきた。杉田ゼミの学生は販売戦略方法を提案し、3、4年次生14人が高校生とともに販売を行った。完成した「こめぼこ」は小さなおにぎりほどの大きさで6個入り400円。7月23日、27日に行われた楽天イーグルス軍公式戦(仙台市・Kobobank宮城)では各日600パック、8月11日、13日の同2軍公式戦(石巻市民球場)で1日300パックを限定販売し、すべて完売した。食感を楽しむ女性客や、ボリュームに満足した男性客など、好評だった。杉田ゼミの学生は事前販売場所を訪ね、マーケティング調査を行い、販売戦略を立てた。PR活動としてSNSやテレビでの告知を積極的に行うことも提案。実際にKobobank宮城では当日、場内の大型スクリーンでPR映像を放映。楽天イーグルス公式ツイッターを通じて情報拡散を図ったり、地元テレビ局のワイド番組に出演し、プロジェクトの紹介なども行った。

ゼミ長の今野大樹さん(3年次・宮城県石巻商業高)は「販売初日(7月23日)は雨が降り、売れるかどうか心配でしたが、SNSやテレビの効果が行列ができるほどでした。販売戦略をさまざまな角度から考えることができ、とても勉強になりました。今回の『こめぼこ』を起爆剤に、地域おこしをさらに発展させていきたい」と話した。

祭り盛り上げ地域貢献

石巻川開き 学生ら230人参加

石巻川開き祭りが今年も7月31日と8月1日に開催され、会場となった中心市街地は2日間、多くの人でにぎわった。両日を「地域貢献日」とする本学からは学生や教職員延べ約230人が参加。孫兵衛船競漕や大縄引きの選手、大漁踊りの踊り手、また、スムーズな運営を支えるボランティアとして力を発揮し、石巻市最大の祭典を熱く盛り上げた。

「さまざまな社会人の方と話ができて、自分を振り返る機会をもらっ



灯ろうを手渡しで川面まで送る学生たち(流燈ボランティア)



学生と教職員が力を合わせてオールを漕ぐ(孫兵衛船競漕)

た。これからのかてになる体験になりました。友人3人と流燈ボランティアに参加した山本光さんに流す作業を担った。流

ん(経営1・岩手県一関学院高)は、手作りした5000個の灯ろうを川に流す作業を担った。流

燈はボランティアが丸を運ぶ。

一列になって手渡しでリレーする傍らで、灯ろうを入れた段ボールを抱えて走る実行委員会スタッフの姿を見て、山本さんも後に続いた。「どうすれば役に立てるのかと考えると、夢中で往復した。多くの人の支えで成り立っていることがよく分かった。山本さんは来年も



市民とともに笑顔で楽しんだ(大漁踊り)

松川さん 会長賞 日本地域政策学会



表彰式で賞状を受け取る松川さん

大学院経営学研究科博士後期課程の松川美希さん(指導・石原慎士経営学部教授)が、第16回日本地域政策学会全国研究大会(7月1〜2日、千葉県葉原孫子市)の学生ポスターセッションで、個人部門の会長賞を受賞した。

松川さんは「未利用資源を活用した産学・異業種連携による商品開発プロジェクト」というテーマで発表。学校給食で産魚が普及しない問題や、東日本大震災で被災した企業が販路開拓に苦

2017 石鳳祭

10/7(土) 8(日)

☆お笑いライブ(観覧無料)メインステージで開催。7日は「流れ星」「上木恋愛研究所」、8日は「永野」「シオマリアッチ」が出演。

最新情報は石鳳祭実行委員会
Twitter(@isu_sekihou)
LINE(@idb1497m)で公開!!



出演し、質問に答える鳴さん(左)と鳴さん。耳

学生ラジオCMコンテスト 鳴さんFM仙台賞

在学する学校を表現して放送された。「石巻たラジオCMのコピーをどこにもまけない。地域を考える」「JFN学生ラジオの力」「大学の賢さ市オCMコンテスト2017」で、鳴倫子さん(人間4・大阪府刀根山高)の作品がFM仙台賞を受賞した。受賞作は7月21日から2週間、FM仙台修大学とアピールした。

8月7日には、FM仙台の「Morning Brush」に出演し、インタビューに答えた。

「県内の大学の中で1校だけ離れたところにあるので、逆にこれを売りにつようと考えた」と鳴さん。耳



福島教授の実験講座で鉄イオンの濃度を測定する高校生たち

に心地よく入るように、五七五のリズムにすることにし、三つの句を約10分間でひねりだしたという。受賞に関しては「びっくりしました。うれしいうような恥ずかしいような気持ち」と喜びを素直に表していた。「CMを通して石巻の地域性を分かってもらえたらうれし」と話した。

3日は、発表を終えた高校生の巡検研修の一環として、理工学部4学科が研究室紹介ブースを開設。本学教員や学生へ意欲的に質問を行う高校生が数多く見られた。その他、食環境学科の福島美智子教授と情報電子工学科の佐々木慶文教授による実験講座も行われ、45人の高校生が参加した。

……

福島教授の実験講座で鉄イオンの濃度を測定する高校生たち